

### ④横田基地に関する考え

～引き続き関係機関に対し、基地に対する要望、要請を行なうとともに、その動向を注視していきたいと考えています～

現在、横田基地においては、米軍再編に伴う航空自衛隊航空総隊司令部の移駐が徐々に開始され、その後、第5空軍司令部との併置となり、日米共同で使用する基地として、ますます重要な拠点に位置付けられることとなります。

その動向には十分に注意を払うところですが、昨年12月に閣議決定された中期防衛力整備計画の中で、日米の相互連携能力を向上するため、横田基地を新設し、航空総隊司令部等に移転するという、それまでの司令部移駐に関する説明の中では一切触れられていなかった文言が表記されました。この、司令部移駐に関しては一定の理解を示してきましたが、この文言は、基地機能の更なる強化がなされ、基地の態様の変化へとつながる重要な意味を含んでいるのではないかと懸念し、これ以上の基地の態様の変化、基地機能の強化は、絶対容認できないことを、国に対して強く抗議をしました。これに対し国からは、法令上の整理として横田基地という文言を用いたもので、更なる基地機能の強化は無いとの回答を得ました。



また市民生活や行財政運営への影響がないよう、航空機騒音対策や公共施設整備などの防衛補助事業の拡充にも努め、防音機能復旧事業の採択基準の見直し、航空機の安全運行の推進等を関係諸所と協力して要請していきます。

現在、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第9条に基づく特定防衛施設周辺整備調整交付金、いわゆる9条交付金は、従来のハード事業だけでなく、ソフト事業も対象とする内容で、法律の一部改正法案が、国会において継続審査の手続きが取られています。その動向を注視しつつ、関係諸機関等と連携して防衛補助事業の充実に努めていきます。

### ⑤市の財政状況について

～非常に厳しい財政状況のもと、財政運営の健全化のために、新たな歳入確保、収納事務体制の強化を図ります。また可能な限り歳出の抑制に努めていきます～

福生市では、将来の財政需要への対応を考慮し、後の世代に負担を残さないよう、長期的視点に立って平成23年度予算を編成しました。

一般会計の新年度予算の規模ですが、前年比で3億900万円の増額を

見込んでいます。

歳入においては、依然として続く景気の低迷により、市税収入が1億200万円ほどの減額、さらに、繰入金、市債についても減額を見込んでいます。一方、国の地方財政計画で普通交付税が2.1%の増加となっていることなどにより、地方交付税が前年比で3億2,900万円の増額、また、国庫支出金では、子ども手当の上積み、及び通年支給に伴う負担金の増額、第3市営住宅エレベーター設置事業に対する地域住宅交付金などの増額を見込み、さらに、下水道会計においては、排出量1万立方メートルを超える大規模な事業所に対する下水道使用料の改定により、増収を見込んでいます。

〈一般会計〉
216億4,400万円(前年度当初比1.4%増)
〈特別会計を含む総額〉
334億8,800万円(前年度当初比2.0%増)

また、歳出では、景気低迷を反映して被保護世帯の増加が見込まれる生活保護費、また、子ども手当の通年支給などによる増額により、扶助費全体では4億2千万円ほどの増額を見込んでいます。また、人件費においては、職員人件費はマイナス給与改定、職員定数の減などにより減額となりますが、議員年金廃止に伴う議員共済会負担金については、7,700万円ほどの増額を見込んでいます。

非常に厳しい財政状況ですが、市の財政運営の健全化のために、今後も、新たな歳入確保、収納事務体制の強化を図ってまいります。また、歳出面におきましては、事務事業の積極的な見直しを行なうとともに、職員人件費の抑制や事業経費の削減など、可能な限り歳出の抑制に努めてまいります。

### ⑥5つの元気施策について

「5つの元気」施策は、単年度ごとに推進事業計画を立てて実施するものです。今後も継続する施策ですので、随時、点検・評価をしながら、さらに充実を図ります。

### ⑦福生市総合計画(第4期)について

「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を都市像とする基本構想に基づき、7つのまちづくりの目標を定めて、50の施策を展開していきます。

平成23年度も計画に基づく施策並びに事業を展開していきます。  
※具体的な事業は「平成23年度5つの元気施策と総合計画(第4期)の主要事業」をご覧ください。

#### 結び

今、地方自治体は、大きく流れが変わる過渡期ともいえ、さまざまな点で課題を抱えております。市政の運営、そして、今後のまちづくりに、私をはじめ職員一人ひとりが、全力をあげて邁進していく所存です。市議会、そして市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 平成23年度5つの元気施策と福生市総合計画(第4期)の主要事業

### 5つの元気施策

#### ●●「子育てが元気」施策●●

##### 【予防接種助成の実施】

- ①子宮頸がん予防ワクチン
- ②ヒブワクチン
- ③小児用肺炎球菌ワクチン

各ワクチン接種についての助成を実施します。

女性、お子さんへの予防接種の助成を通じて、子育てをしやすい環境を整えます。



#### ●●「お年寄り・障害者が元気」施策●●

##### 【重度身体障害者(児)訪問入浴サービス事業】

家庭での入浴が困難な、6歳から17歳までの在宅の重度身体障害児に対し、福祉センターの特殊浴槽を利用して入浴サービスを提供する「重度身体障害児入浴サービス事業」、また、6歳から64歳までの在宅の重度身体障害者に対し、訪問による入浴サービスを行なう「重度身体障害者(児)訪問入浴サービス事業」を実施します。

#### ●●「教育が元気」施策●●

##### 【スクールカウンセラーの全校配置を実施】

東京都によるスクールカウンセラー未配置の小学校全校に、スクールカウンセラーを配置。これにより市内の全小中学校で児童へ心理面のサポートを可能にします。

#### ●●「まちが元気」施策●●

##### 【ロケ撮影を通じたシティセールス推進、「福生ドッグ」ブランド化へのPR・普及活動の取組】

ロケ誘致の促進を行ない、メディアへの露出機会を創り出すとともに、ロケに関連した市内事業者の事業機会を創出していきます。

##### 【観光案内所「くるみる ふっさ」の充実】

福生の観光スポットの案内や名産品、そして交流のある登別市、守山市の名産品紹介、販売などを行ない、積

極的に地域ブランドを発信していきます。

##### 【市道第1160号線道路改良事業】

宿橋通りの改良工事を実施します。平成23年度は詳細設計、路線測量を行ないませんが、2年計画で街路整備、電線類の地中化工事を実施する計画です。

##### 【町会・自治会の整備促進】

町会・自治会への貸与備品として、会館で使用するテレビを地上デジタル放送対応に移行します。また会館運営費補助金のうち土地建物賃借料補助金を改正し、町会・自治会の負担軽減のため、補助金算出方法の改正と補助限度額の引き上げを行ないます。

#### ●●「スリムな市役所が元気」施策●●

##### 【「私の便利帳」作成を官民協働で作成】

民間事業者が募集する広告収入で経費を賄い、市の負担無く作成し、全戸配布をします。この官民協働の事業は、今後も積極的に実施していきます。



市内ガイドツアーの様子

